

Case05 行政職、課長級



管理職の仕事
漢字一文字で表
すと？

『観』

その漢字を選んだ理由は？

現在の社会情勢を俯瞰して「観察する」ことが大切だからです。社会で起こっている様々な事象や出来事が自分の業務にどのような影響があるのか、あるいは活用できるのかを思案し、それを繰り返すことで視野も広がりますし、新たなアイデアにもつながります。

こうした習慣を管理職になる前から続けることは大切だと感じています。

入庁後のキャリアや身についたスキル

入庁当初は事業者さんに対する規制や指導などが主な業務でした。立入検査なども行っていましたので、何よりも事業者さんとのより良い関係性づくりを意識していました。例えば、事業者さんが生産している製品や技術等に関心をもつようにし、自身でも調べたり、じっくりとお話をしていく中で事業者さんの想いや誇りを実感できるようになりましたし、双方の信頼関係も構築できたのではないかと思います。

その後、地域密着型の業務に携わることとなり、地域のみなさんとともに地域の魅力向上や活性化に取り組みました。中でも、まちづくりの方向性等をまとめた計画の策定について、ワークショップをコーディネートさせていただき、住民が主体的に提案して、最終的に素晴らしい計画を作り上げることができたのはとてもやりがいのある仕事でした。

課長級に昇格し、様々な課題と向き合いながら、よりよい社会や職場環境の構築のために何ができるのかを思案しながら、部下職員とともにチームで目標に向かって取り組み、結果につながったことは達成感や充実感がありました。

管理職としてどのような仕事をしていますか？

課長級として、率先して現状をより良くしていくことが求められていると思います。部下に対しても、変化を恐れることなく、むしろ、「変わること」の大切さや楽しさを実感してもらいたいと感じています。そのためには、部下職員が想いや熱意を持って相談や提案をしてくれる、全力で挑戦できるような雰囲気、環境づくりが不可欠であると考えています。

プライベートとの両立は？

管理職になってから、育休を1年程度取得しました。

職場の理解があったことで育休取得の際もスムーズに業務引継ぎなどできました。

育休期間中も、職場や組織全体の状況はできるだけ知っておきたかったので、所属職員に様々な情報を共有してもらっていました。

育休取得については、家族で話し合っ決めてました。妻と共に、こどもの成長を間近で見ることができるのは、かけがえのない時間でした。

自分が育休を経験したことで、職場復帰してからは、例えば、看護休暇を取ったり、育児に関わる職員がいると、自身の経験も踏まえたコミュニケーションを取れるようになったと思います。育児に限らず、自分自身が体験することで、これまで以上に相手の立場になって物事を考えられるようになって感じます。こうした習慣を管理職になる前から続けることは大切だと感じています。

八尾市の「押し」

産業と農業です。八尾市は中小企業の集積地であり、オンリーワン、ナンバーワンの技術を有している企業もたくさんいらっしゃいます。また、美味しい野菜などを作っている農家さんもたくさんおられますが、中でも八尾の枝豆は抜群に美味しいです。これからは様々な形で産業・農業を応援したいです。

八尾市職員を
めざす方への
メッセージ

現状から一歩踏み出せば見える景色は変わると思います。その変化を楽しむことがモチベーションの向上につながります。八尾市職員として、「八尾市民の幸せ、八尾市の将来」につながることを一緒に考え、実現することができれば嬉しいです。